

私たちと共に
安全・安心の医療・介護
をめざしませんか？

求人・紹介

大募集！

助産師

応募資格：看護師、助産師の
有資格者(60歳まで)
来春資格取得見込み者



勤務地：耳原総合病院 同仁会各施設

【問い合わせ・応募先】

社会医療法人同仁会 耳原総合病院
師長室(担当：小谷) 電話：072-241-0501
内線315

登録ヘルパー

応募資格：ヘルパー2級以上(60歳まで)
初心者でも歓迎します

勤務地：同仁会各ヘルパーステーション
(堺市内)

【問い合わせ・応募先】

社会医療法人同仁会 介護保険事業部
(担当：地道) 電話：072-244-7140

助産師、ヘルパーについては、ご紹介いただいた方
には謝礼を進呈中！詳しくはお問い合わせ下さい



理学療法士 作業療法士 言語聴覚士

応募資格：有資格者
来春資格取得見込み者

勤務地：耳原総合病院 同仁会各施設

【問い合わせ・応募先】

社会医療法人同仁会 本部
人事部(担当：大蔵) 電話：072-244-7260

2015年度

患者・利用者 満足度アンケート

取り組みスタートしています

2014年度のアンケート結果

2014年度の患者・利用者満足度アンケート、
同仁会全体で3317件の回答が寄せられました。

総合満足度5以上 85%

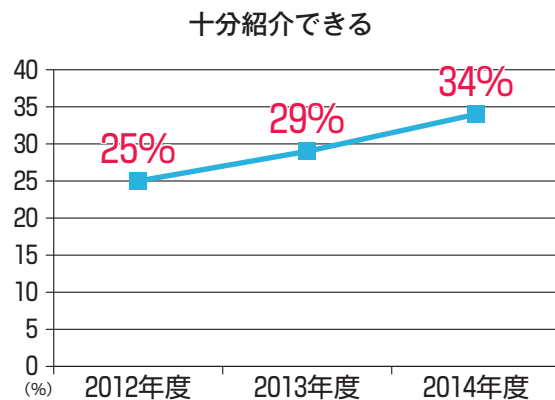
〈全事業所計〉

(6段階評価…6-非常に満足、5-満足)

当事業所を十分紹介できる 34%

(6段階評価…6-十分紹介できる)

当事業所を十分紹介できるとの回答が、3年間で向上しています。

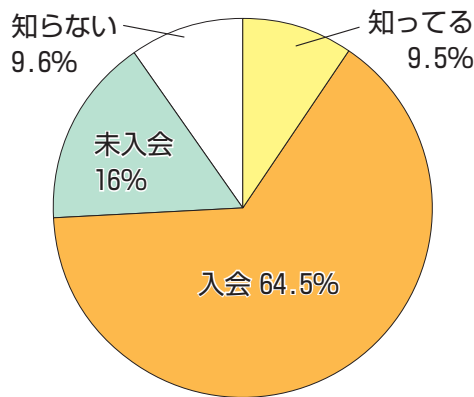


2015年度の患者・利用者満足度アンケートがスタートしました。昨年は同仁会全体で3317件の回答が寄せられました。今年は、4月に耳原総合病院の移転、10月に「患者様」から「患者さん」へ呼称変更を実施と、環境が大きく変化した年となりました。みなさんの率直な声をお聞きし、よりよい医療機関をめざしたいと考えております。
ご協力よろしくお願いたします。

友の会加入率

アンケート結果では、法人全体の友の会加入率は65%でした。今後も継続して加入を呼びかけます。

友の会について



シリーズ 現場からの 視点

事例 その9

日々の訓練で
技術向上をめざす

日々の訓練で 技術向上をめざす

医療行為が必要な方は通常の身体介護が必要な方と比べて、病状などが重篤なことは当然です。また、利用者さんの状況によって、本人や家族との信頼関係の構築が困難であったり、他の医療機関や訪問看護ステーションに依頼する必要がある場合があります。

2012年(平成24年)4月に「社会福祉士および介護福祉士法」の一部が改正され、一定の研修を受けた介護職員等の業務として痰の吸引、経管栄養の注入を行うことが制度化されました。医療行為である痰の吸引のサービスを受けるにあたり、耳原のヘルパー事業所ではさまざまな意見が出ました。
・短期間の研修(2日間の講義+実地研修2回)だけで介護職員が業務として安全に行なうことが出来るのか？
・国の医療費削減のための施策に安易に従っているのか？
・サービスを受ける利用者さんの不安が大きいのでは？
・介護職員の精神的負担やリスクの大きさはどうか？
・介護職員の中からは不安の声があがりましたが、「障害があっても、病気があっても住み慣れた場所で暮らしたい」という願いを支えるためには、看護師だけでは担えない「介護職の力を借りたい」との声がこたえ、2013年(平成25年)4月からサービスをお受けすることを決め訓練がスタートしました。

医療行為が必要な方は通常の身体介護が必要な方と比べて、病状などが重篤なことは当然です。また、利用者さんの状況によって、本人や家族との信頼関係の構築が困難であったり、他の医療機関や訪問看護ステーションに依頼する必要がある場合があります。

在宅生活を支えるために…

介護職員による「医療行為」制度化 に対応するヘルパー事業所での 取り組み

介護保険事業部
ヘルパーステーション

現在4人の重度難病の利用者さんに、21人の介護職員が関わっています。人工呼吸器装着の方の痰吸引や胃ろう注入(直接胃にチューブで栄養を入れる)など緊張するサービスですが、日々やり甲斐を感じています。まだまだ課題はありますが、常にコミュニケーションを行ないながら、利用者さんが安心して在宅生活が続けられるよう支援させていただきたいと思っております。

そして当然の課題として、安易に医療費削減を目的に介護職に医療行為を担わせる動きに対し、断固反対する運動にも取り組んでいきます。

課題はあるが やりがいも

訓練を継続して行うなど技術向上に努めています。(写真)



模型を使っでの練習

このような濃密な連携が必要であったりと、多様なハードルがあります。これらのサービスを安心して安全に実施するには、医療との連携はもちろんの事、事業所内でも常に看護師の指導を受け、模擬